

# 船員保険（健康づくり等）に関する意識調査

## 調査結果概要版

令和6年5月

### 調査の概要

わが国の海運と水産を支える船員の皆さまとそのご家族の皆さまに、将来にわたって健康に暮らしていただくため、船員保険部では健康づくりの支援に力を入れています。

本調査は、「船員の健康づくり宣言」<sup>(※)</sup>をはじめとする船員の健康づくりをより効果的に実施していくため、健康づくりの実態や保健事業のニーズ並びに船員保険に求める支援、労働実態等を把握したいことから実施したものです。

(※)「船員の健康づくり宣言」とは、エントリーいただいた船舶所有者に対し、全国健康保険協会船員保険部がオンラインによる面談等を行いながら、船員の健康づくりに関するフォローや支援メニューの提供等を行う取り組みです。(概要は別紙2)

#### ■調査方法

調査対象	①船舶所有者	3,764 件
	②被保険者_健康づくり版（15歳～74歳）	10,000 件
	③被保険者_健診版（15歳～74歳）	10,000 件
	④被扶養者（40歳～74歳）	6,500 件

※①～④は令和6年能登半島地震で被災された4県については調査対象から除外しております。②、③及び④は、船員保険の加入者の中から無作為に選ばせていただきました。

実施方法 郵送による調査票配布-郵送回収（督促はがきを1回送付）

実施期間 令和6年2月2日（金）～2月22日（木）

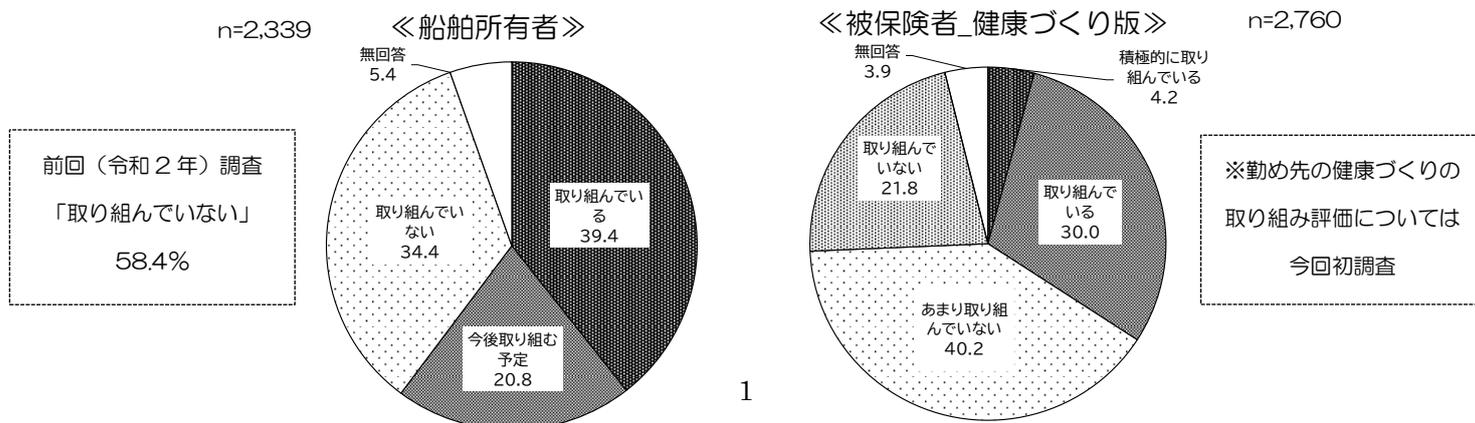
有効回答	①2,339 票（有効回答率 62.1%）
	②2,760 票（有効回答率 27.6%）
	③2,849 票（有効回答率 28.5%）
	④2,840 票（有効回答率 43.7%）

### 調査の結果

#### 「船員の健康づくりの取り組み」について

##### (1) 健康づくりの取り組み状況

健康づくりの取り組み状況について、《船舶所有者》では、「取り組んでいる」が39.4%となっています。一方で、《被保険者\_健康づくり版》の勤め先の健康づくりの取り組み評価については、「取り組んでいる」の割合が34.2%（「積極的に取り組んでいる」4.2%+「取り組んでいる」30.0%）となっています。

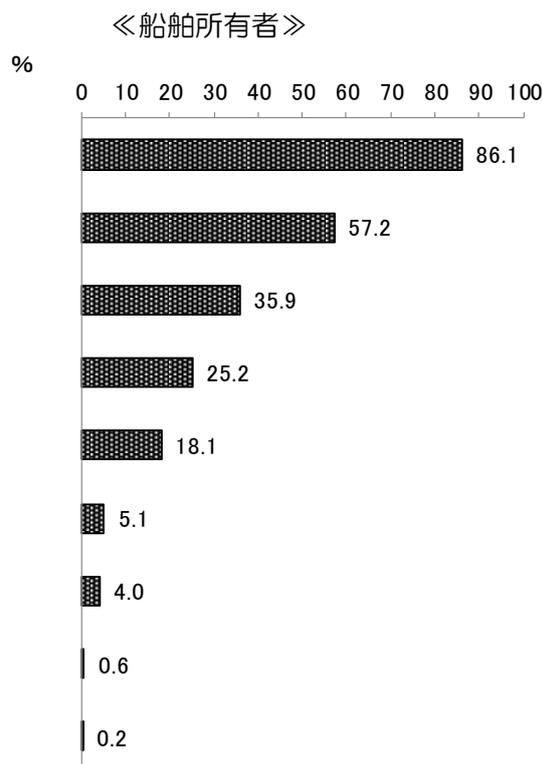


## (2) 自社の船員の健康づくりの目的

自社の船員の健康づくりの目的について、あてはまるものを回答してもらったところ、「船員の健康の保持、増進」が86.1%と最も高く、以下「病気・怪我による休職・離職の防止」が57.2%、「船員（人材）の確保」が35.9%、「船員の満足度の向上」が25.2%、「生産性（作業効率）の向上」が18.1%と続いています。

n = 1,408

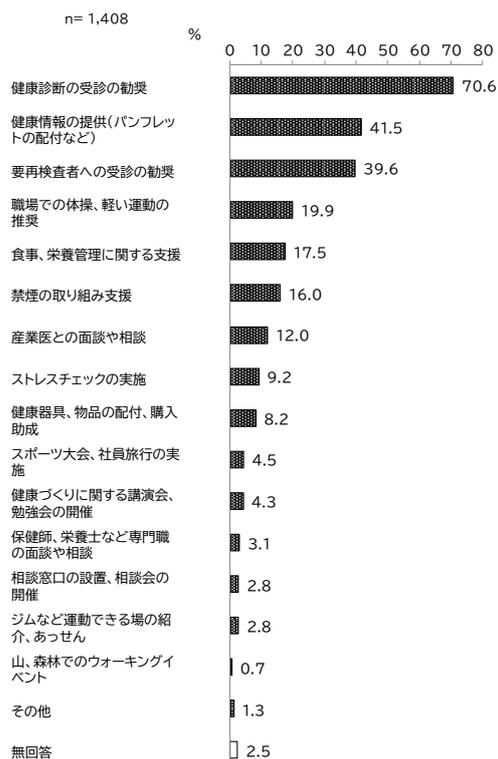
船員の健康の保持、増進	86.1
病気・怪我による休職・離職の防止	57.2
船員（人材）の確保	35.9
船員の満足度の向上	25.2
生産性（作業効率）の向上	18.1
会社のイメージの向上	5.1
健康経営優良法人認定取得	4.0
その他	0.6
無回答	0.2



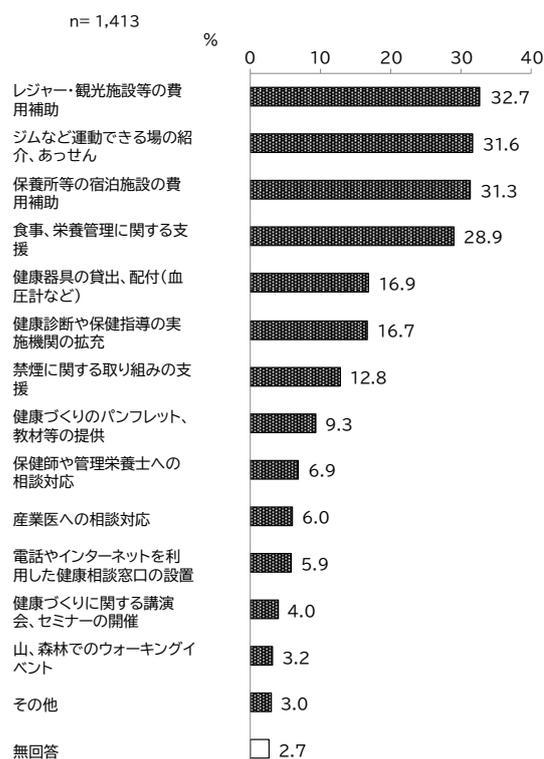
## (3) 具体的な取り組み、勤め先に求める取り組み

「船舶所有者」の具体的な取り組みについて、「健康診断の受診の勧奨」が70.6%と最も高くなっています。一方で、「被保険者\_健康づくり版」の勤め先に求める取り組みについては、「レジャー・観光施設等の費用補助」が32.7%と最も高くなっています。

「船舶所有者」  
具体的な取り組み

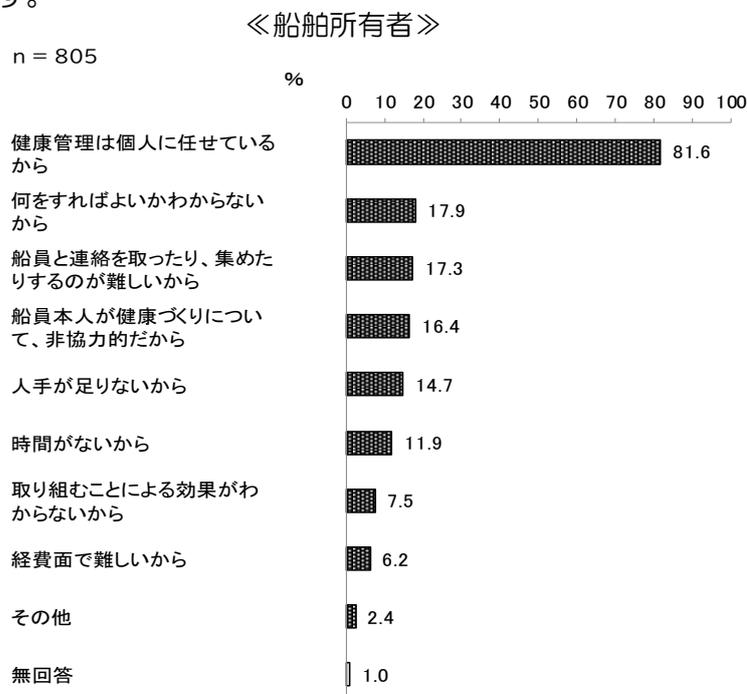


「被保険者\_健康づくり版」  
勤め先に求める取り組み



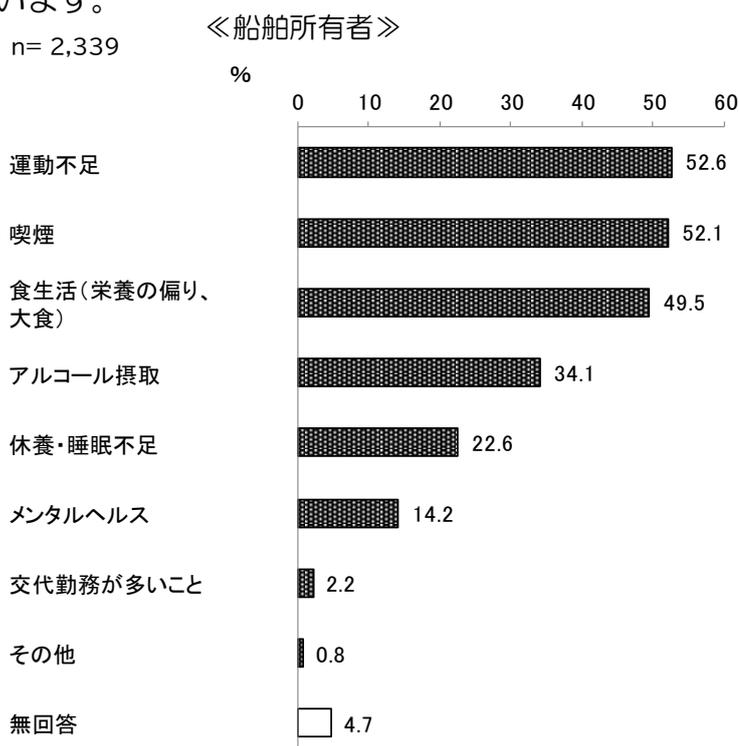
#### (4) 自社の船員の健康づくりに取り組まれていない理由

船員の健康づくりに取り組まれていない理由を3つまで回答してもらったところ、「健康管理は個人に任せているから」が81.6%と最も高く、以下「何をすればよいかわからないから」が17.9%、「船員と連絡を取ったり、集めたりするのが難しいから」が17.3%、「船員本人が健康づくりについて、非協力的だから」が16.4%、「人手が足りないから」が14.7%となっています。



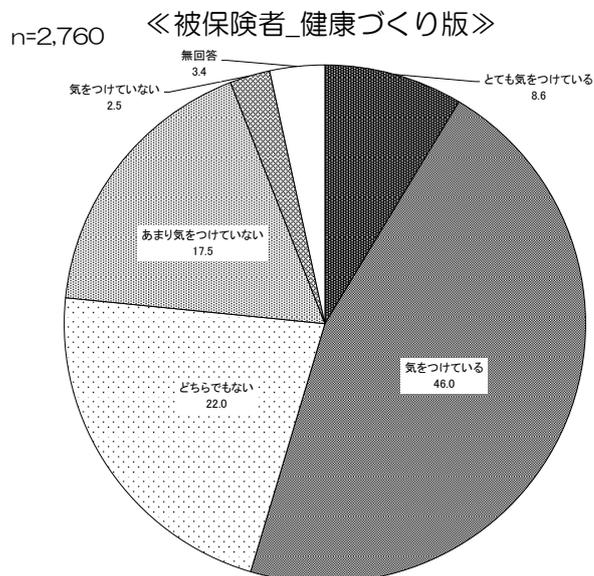
#### (5) 自社の船員の生活習慣上の課題

自社船員の生活習慣上の課題は、「運動不足」が52.6%と最も高く、以下「喫煙」が52.1%、「食生活（栄養の偏り、大食）」が49.5%、「アルコール摂取」が34.1%、「休養・睡眠不足」が22.6%となっています。



## (6) 船員の普段の健康意識

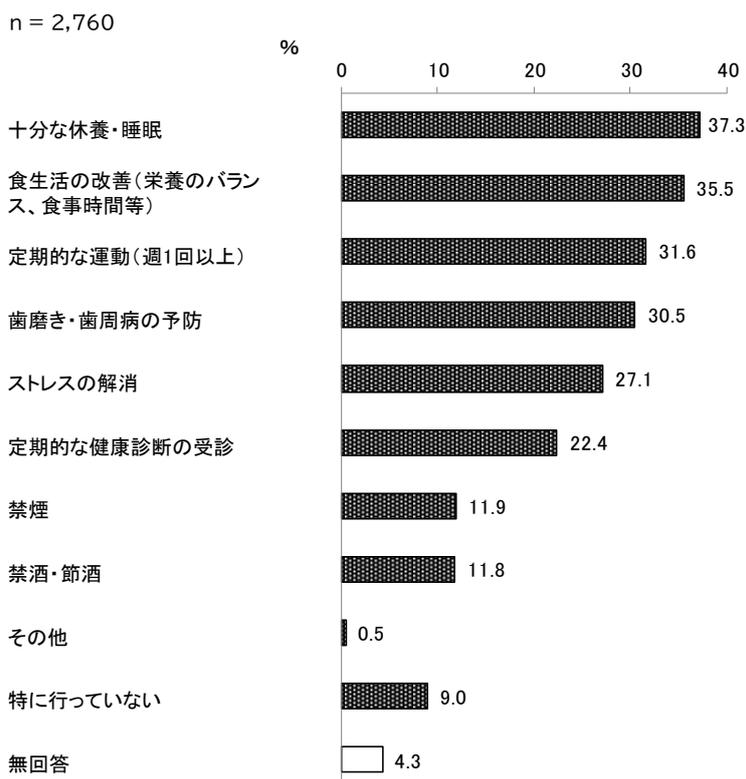
普段の健康意識について、「気をつけている」の割合が54.6%（「とても気をつけている」8.6%+「気をつけている」46.0%）となっています。一方で、「気をつけていない」の割合は20.0%（「気をつけていない」2.5%+「あまり気をつけていない」17.5%）となっています。



## (7) 健康のために心がけていること

健康のために心がけていることについて、「十分な休養・睡眠」が37.3%と最も高く、以下「食生活の改善（栄養のバランス、食事時間等）」が35.5%、「定期的な運動（週1回以上）」が31.6%、「歯磨き・歯周病の予防」が30.5%となっています。

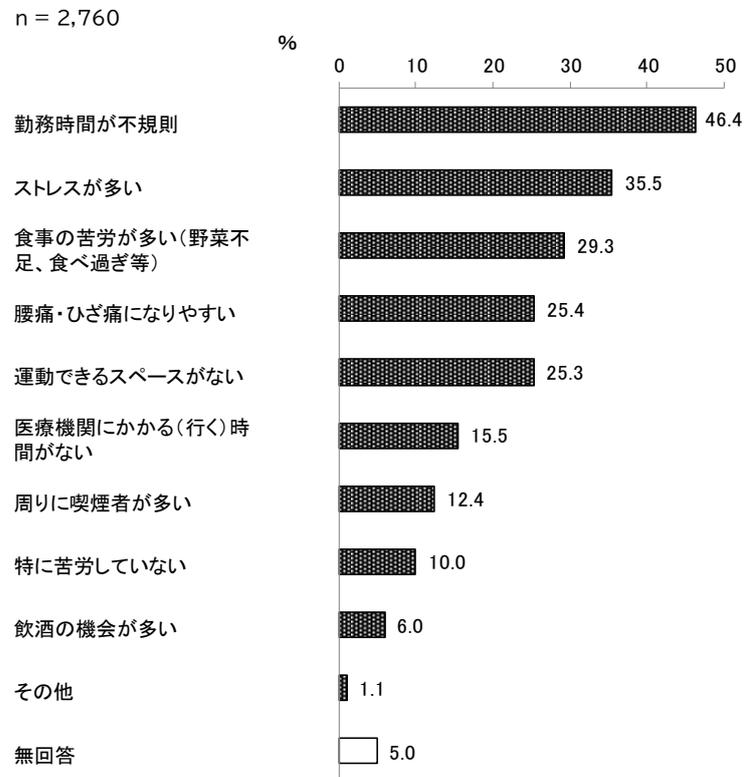
《被保険者\_健康づくり版》



## (8) 健康増進を図るうえで苦勞する点

健康増進を図るうえで苦勞する点について、「勤務時間が不規則」が46.4%と最も高くなっています。

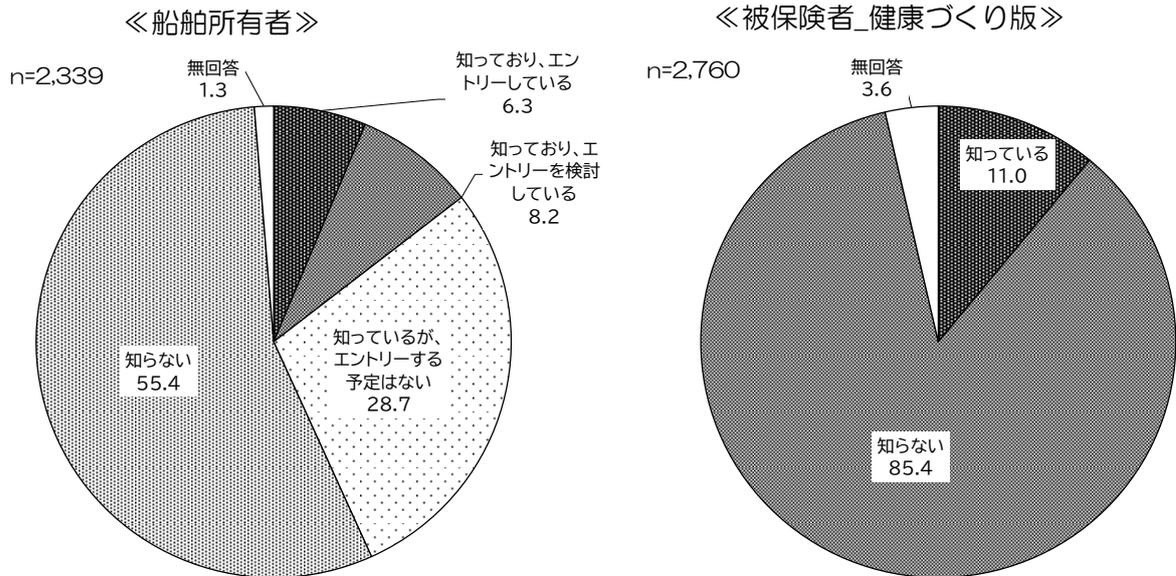
《被保険者\_健康づくり版》



# 「船員の健康づくり宣言」について

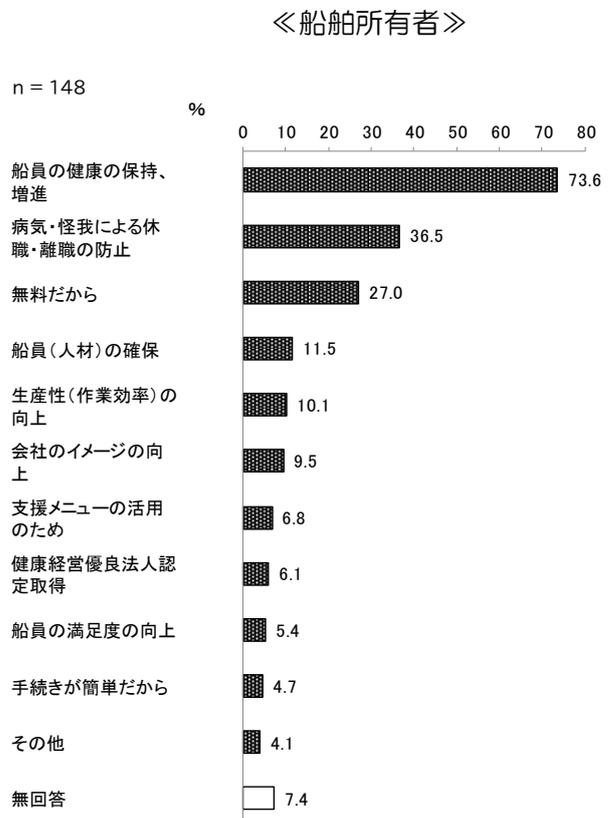
## (1) 船員の健康づくり宣言の周知度

船員の健康づくり宣言の周知度は、《船舶所有者》では43.2%（「知っており、エントリーしている」6.3%+「知っており、エントリーを検討している」8.2%+「知っているが、エントリーする予定はない」28.7%）となっています。一方で、《被保険者\_健康づくり版》では「知らない」が85.4%と最も高くなっています。



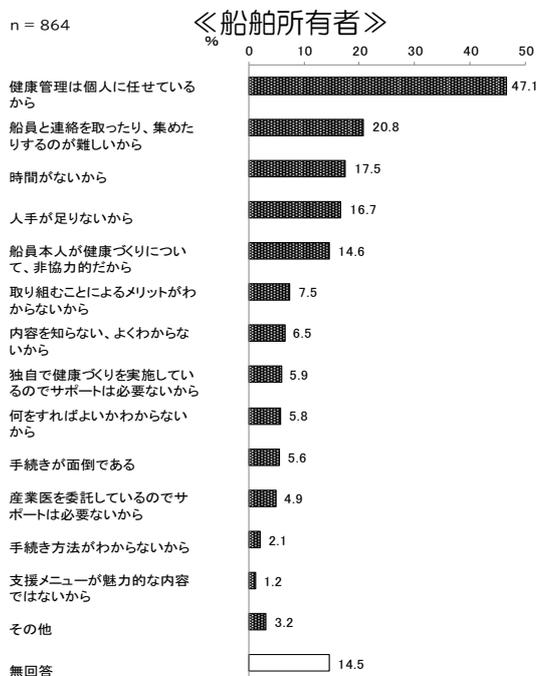
## (2) エントリーした理由

船員の健康づくり宣言にエントリーした理由について回答してもらったところ、「船員の健康の保持、増進」が73.6%と最も高く、以下「病気・怪我による休職・離職の防止」が36.5%、「無料だから」が27.0%、「船員（人材）の確保」が11.5%、「生産性（作業効率）の向上」が10.1%と続いています。



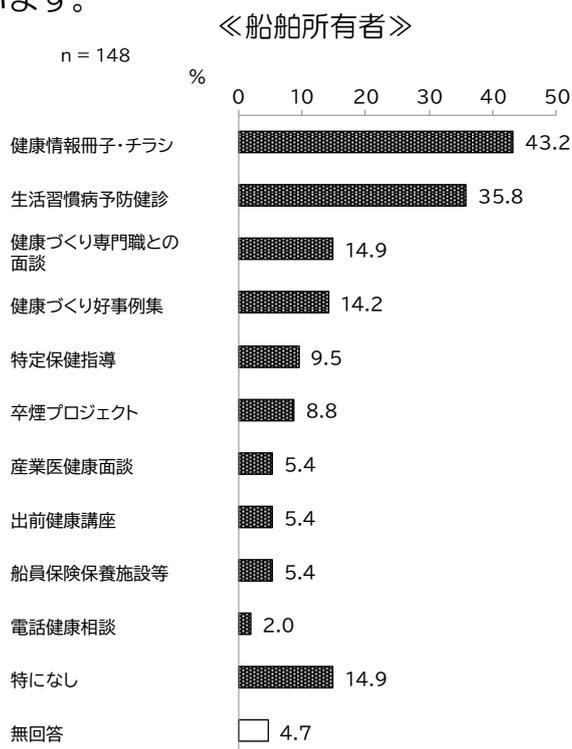
### (3) エントリーしていない理由

船員の健康づくり宣言にエントリーしていない理由について回答してもらったところ、「健康管理は個人に任せているから」が47.1%と最も高く、以下「船員と連絡を取ったり、集めたりするのが難しいから」が20.8%、「時間がないから」が17.5%、「人手が足りないから」が16.7%、「船員本人が健康づくりについて、非協力的だから」が14.6%となっています。



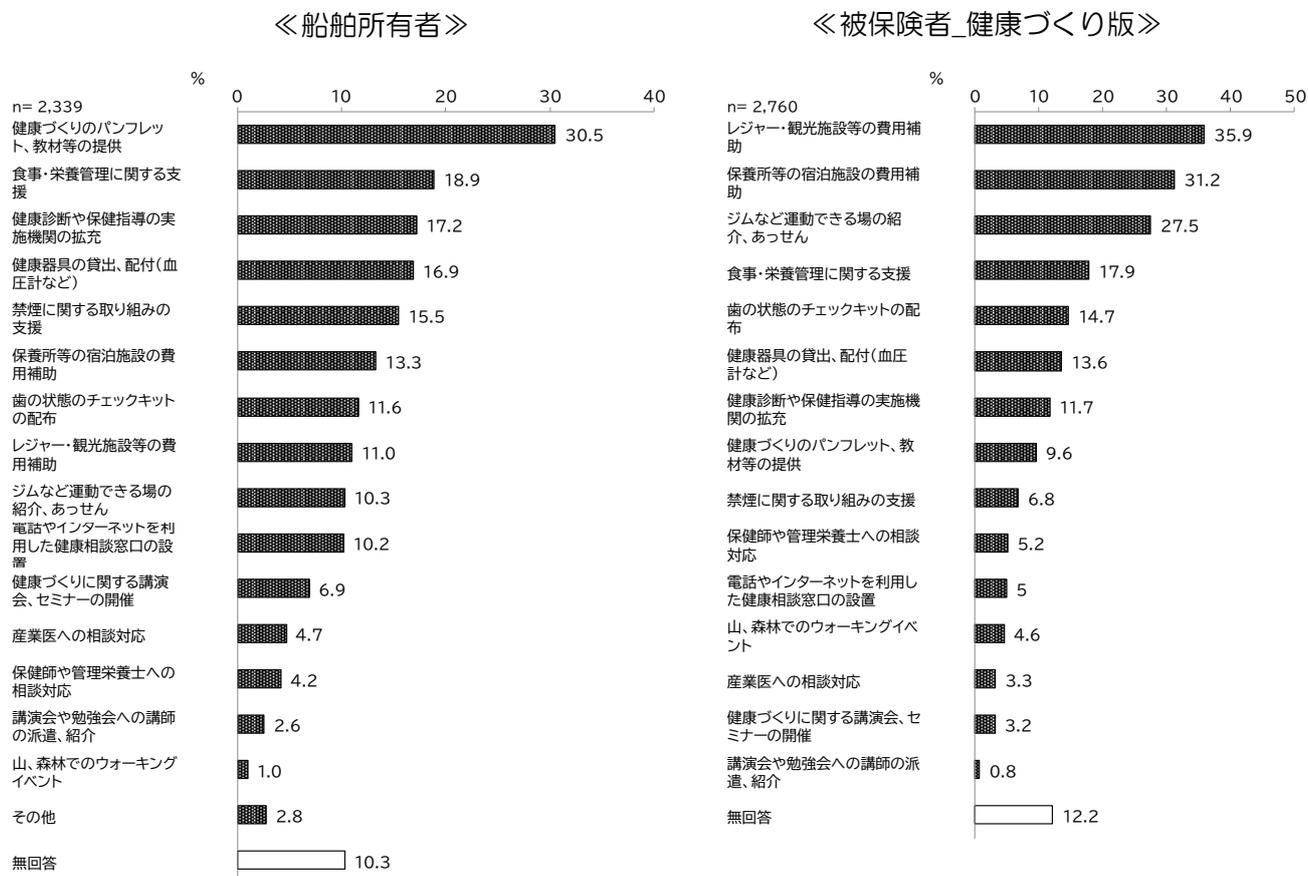
### (4) 利用して良かったと思う主な支援メニュー

利用して良かったと思う主な支援メニューについて、「健康情報冊子・チラシ」が43.2%と最も高く、以下「生活習慣病予防健診」が35.8%、「健康づくり専門職との面談」が14.9%となっています。



## (5) 船員保険部からの必要な支援

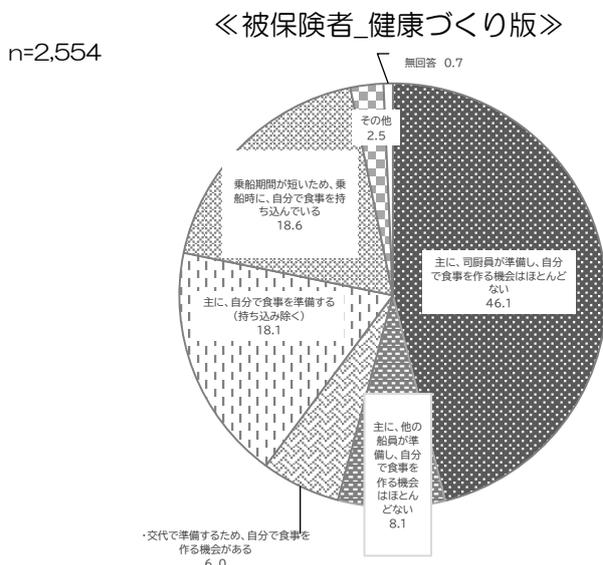
船員保険部からの必要な支援について、「船舶所有者」では、「健康づくりのパンフレット、教材等の提供」が30.5%と最も高くなっています。一方で、「被保険者\_健康づくり版」では、「レジャー・観光施設等の費用補助」が35.9%と最も高くなっています。



## 「食事」について

### (1) 食事の準備について

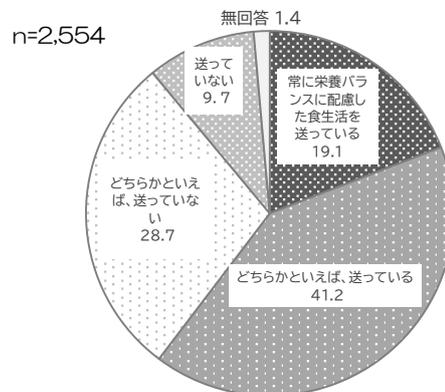
食事の準備について、「主に、司厨員が準備し、自分で食事を作る機会はほとんどない」が46.1%と最も高くなっています。



## (2) 食事の栄養バランスについて

食事の栄養バランスについて、「栄養バランスに配慮した食生活を送っている」の割合が60.3%（「常に栄養バランスに配慮した食生活を送っている」19.1%+「どちらかといえば、送っている」41.2%）となっています。

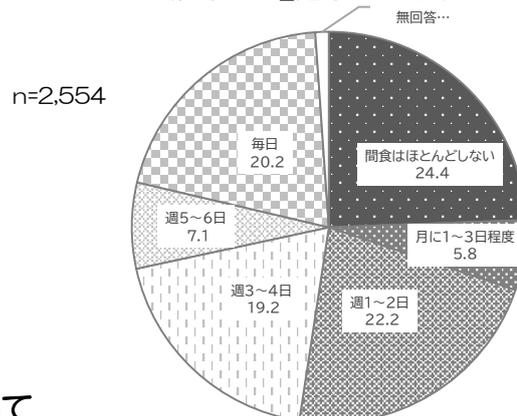
《被保険者\_健康づくり版》



## (3) 間食の頻度について

間食の頻度について、「間食はほとんどしない」が24.4%と最も高くなっています。次いで、「週1～2日」が22.2%、「毎日」が20.2%となっています。

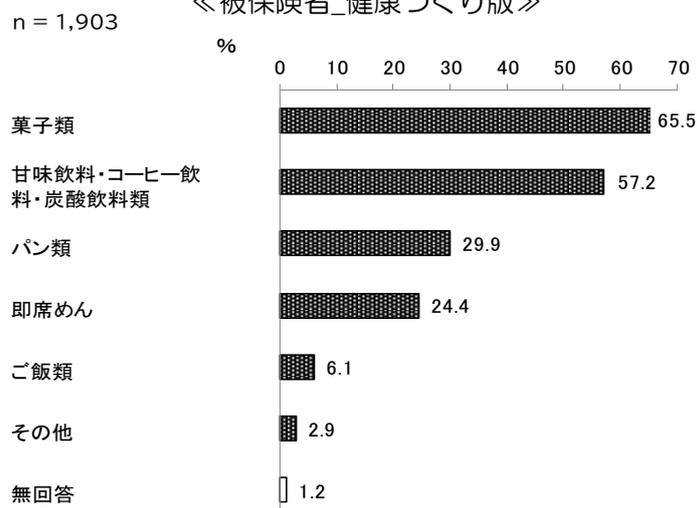
《被保険者\_健康づくり版》



## (4) 間食の種類について

間食の種類について、「菓子類」が65.5%と最も高く、以下「甘味飲料・コーヒー飲料・炭酸飲料類」が57.2%、「パン類」が29.9%、「即席めん」が24.4%となっています。

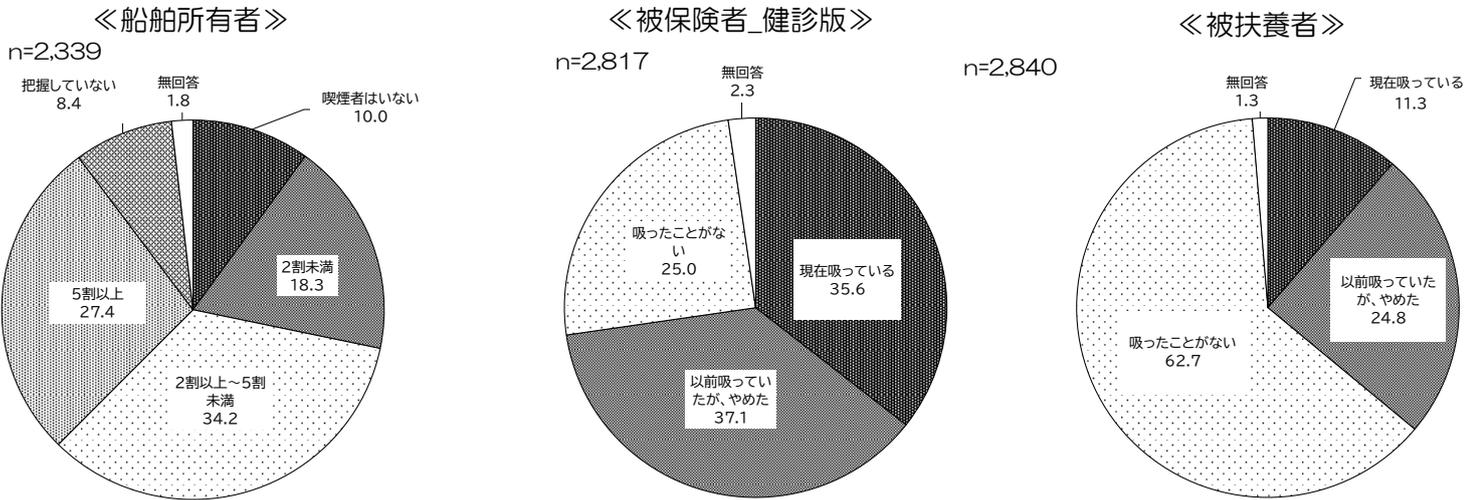
《被保険者\_健康づくり版》



# 「禁煙」について

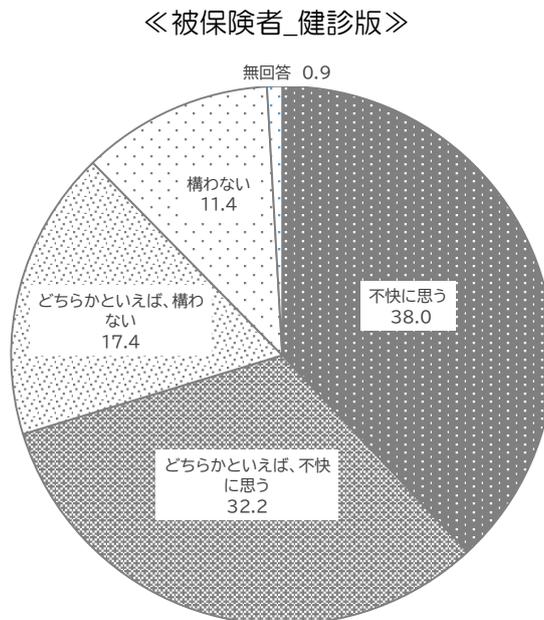
## (1) 喫煙者の割合・喫煙状況

自社船員の中で喫煙者がいる割合について、《船舶所有者》では、全体の8割弱を占めています。一方で、喫煙状況について、《被保険者\_健診版》では、「現在吸っている」が35.6%、《被扶養者》では、11.3%となっています。



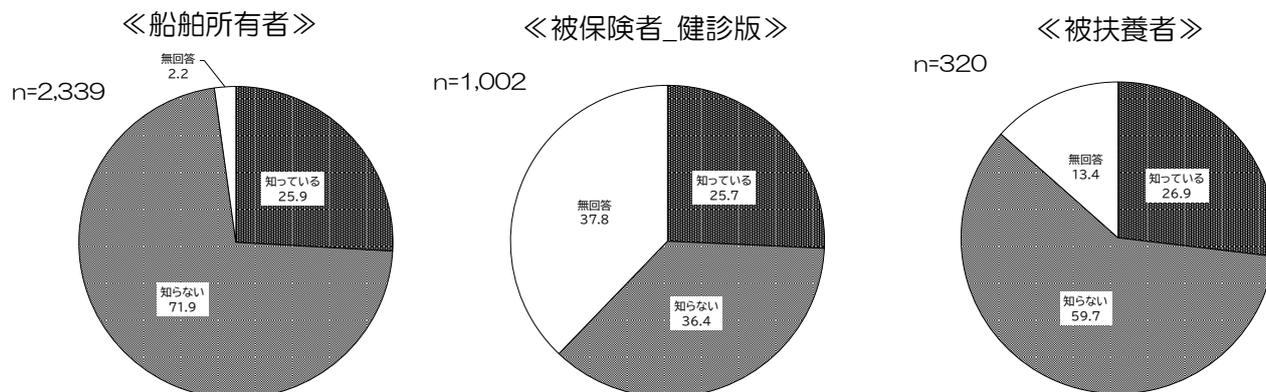
## (2) 同部屋での喫煙者に対する心境

同部屋での喫煙者に対する心境について、「不快に思う」の割合が70.2%（「不快に思う」38.0%+「どちらかといえば、不快に思う」32.2%）と高くなっています。一方で、「構わない」の割合は28.8%（「構わない」11.4%+「どちらかといえば、構わない」17.4%）となっています。



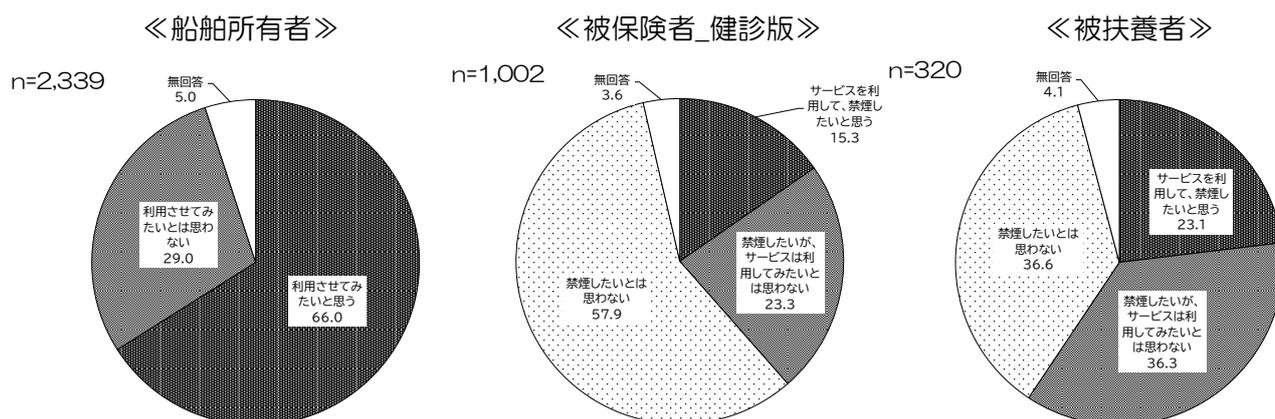
### (3) オンライン禁煙プログラムの周知度

オンライン禁煙プログラムの周知度について、「知っている」が、《船舶所有者》では25.9%、《被保険者\_健診版》では25.7%、《被扶養者》では26.9%となっています。



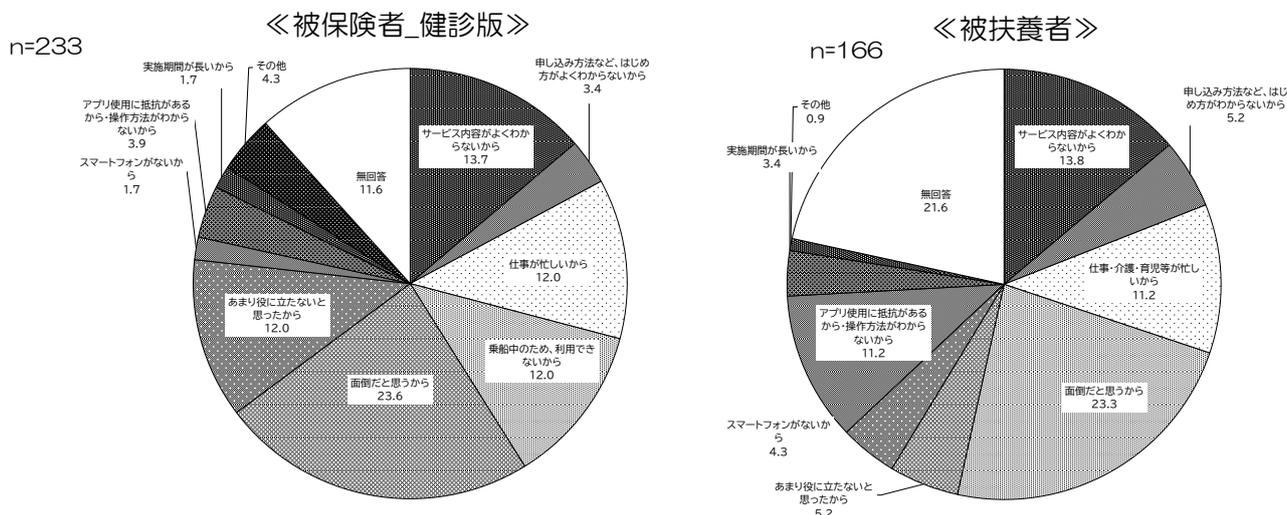
### (4) オンライン禁煙プログラムの利用意向

オンライン禁煙プログラムの利用意向について、《船舶所有者》では、「利用させてみたいと思う」が66.0%と高くなっています。一方で、《被保険者\_健診版》では、「サービスを利用して、禁煙したいと思う」が15.3%、《被扶養者》では、23.1%となっています。



### (5) オンライン禁煙プログラムを利用したいと思わない理由

利用したいと思わない理由について、《被保険者\_健診版》では、「面倒だと思うから」が23.6%、《被扶養者》でも23.3%と最も高くなっています。

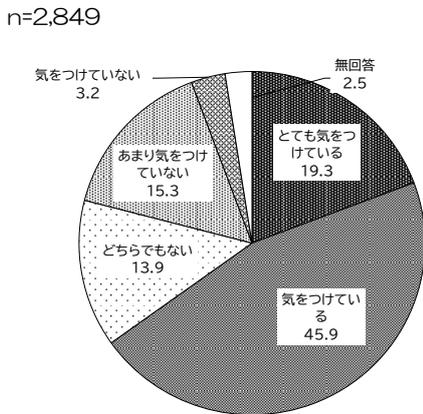


# 「歯の健康」について

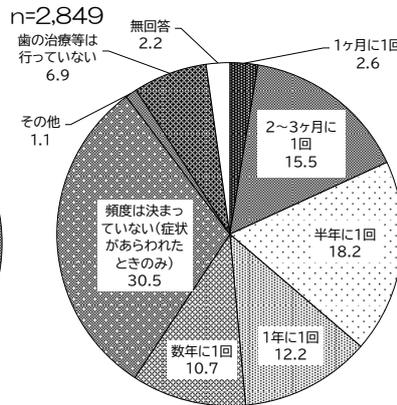
## (1) 歯の健康について

歯の健康意識について、「気をつけている」の割合が 65.2%（「とても気をつけている」19.3%+「気をつけている」45.9%）となっています。歯科へ行く頻度については、「頻度は決まっていない（症状があらわれたときのみ）」が 30.5%と最も高くなっています。乗船中の歯痛への対処については、「乗船中は、痛み止め等の応急処置をし、下船後に歯科へ行く」が 49.5%と最も高くなっています。

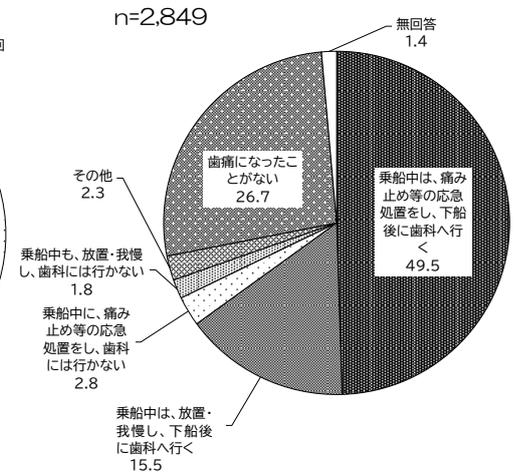
《被保険者\_健診版》  
歯の健康意識



《被保険者\_健診版》  
歯科へ行く頻度



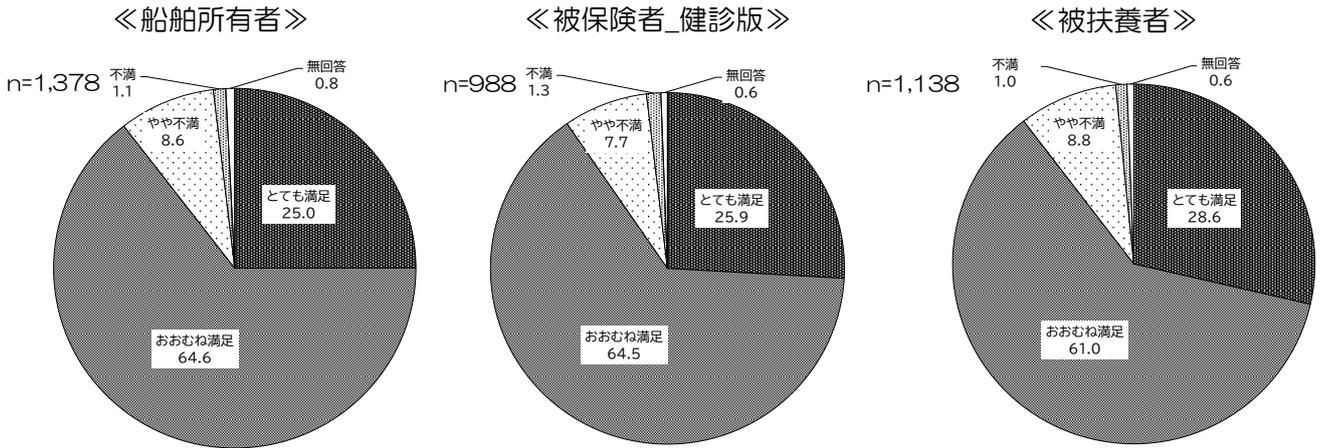
《被保険者\_健診版》  
乗船中の歯痛への対処



# 「生活習慣病予防健診」について

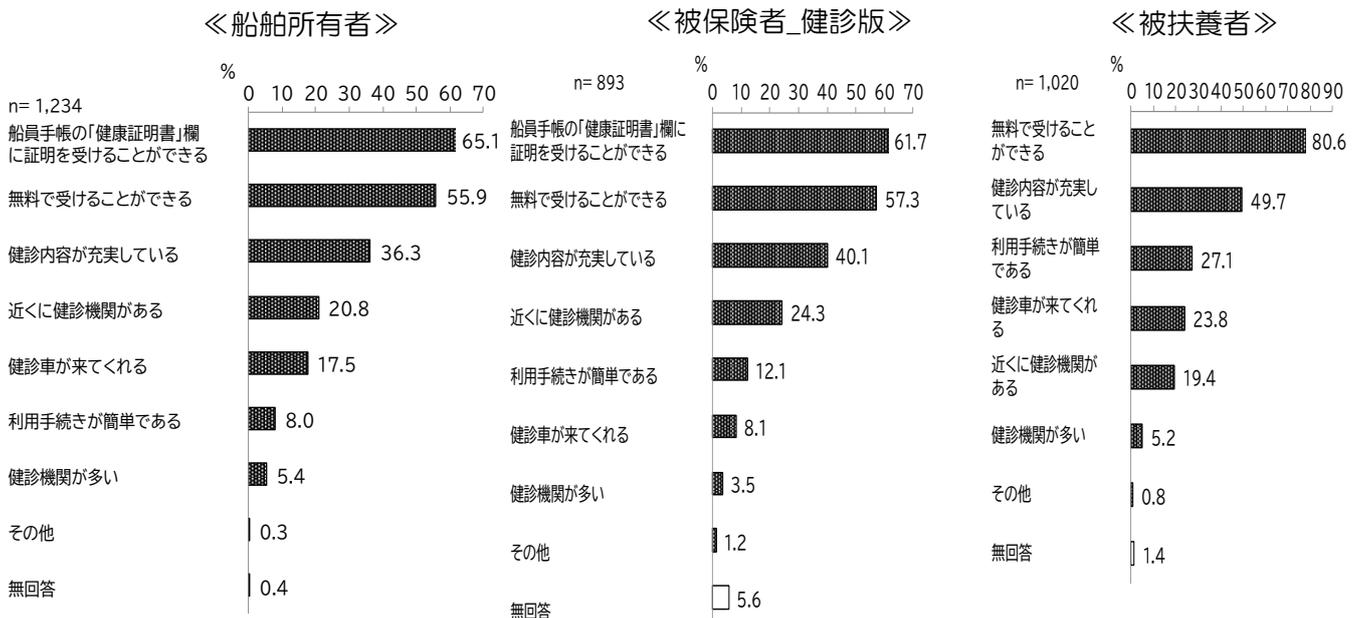
## (1) 「生活習慣病予防健診」の満足度

「生活習慣病予防健診」受診者の健診に対する満足度について、《船舶所有者》では89.6%（「とても満足」25.0%+「おおむね満足」64.6%）、《被保険者\_健診版》では90.4%（「とても満足」25.9%+「おおむね満足」64.5%）、《被扶養者》では89.6%（「とても満足」28.6%+「おおむね満足」61.0%）と、いずれも満足度は高くなっています。



## (2) 「生活習慣病予防健診」に満足している理由

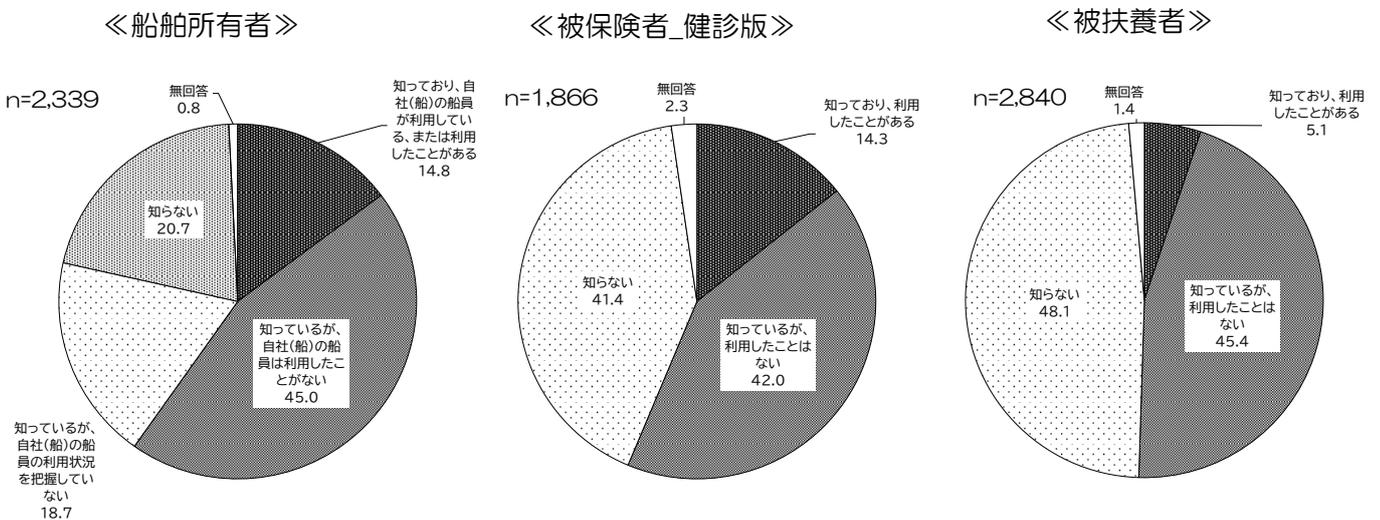
「生活習慣病予防健診」に満足している理由について、「船員手帳の「健康証明書」欄に証明を受けることができる」が、《船舶所有者》では65.1%、《被保険者\_健診版》では61.7%と最も高くなっています。《被扶養者》では、「無料で受けることができる」が80.6%と最も高くなっています。



# 「特定保健指導」について

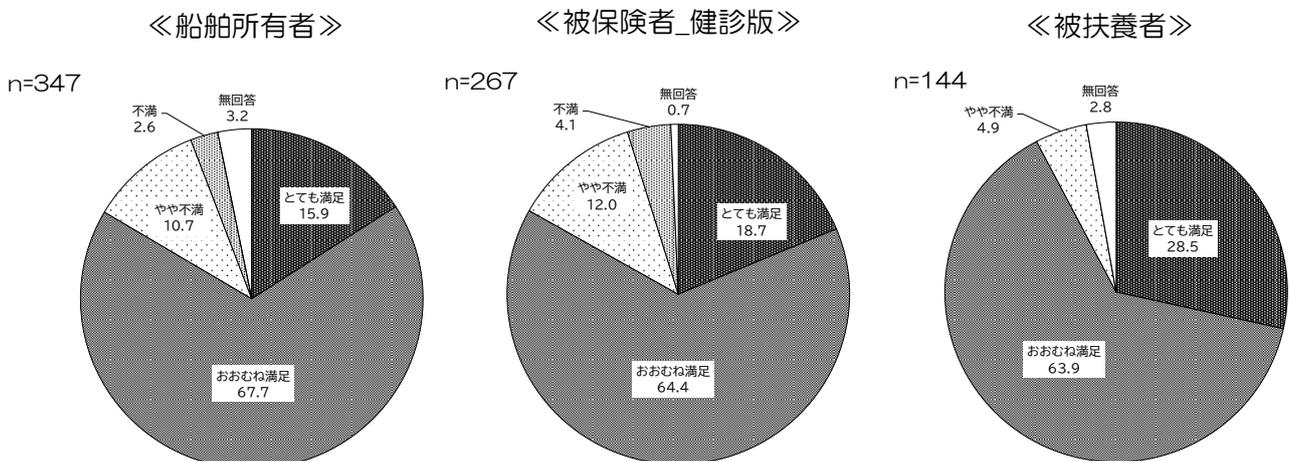
## (1) 「特定保健指導」無料提供の周知度

「特定保健指導」無料提供の周知度について、《船舶所有者》では、78.5%（「知っており、自社（船）の船員が利用している、または利用したことがある」14.8%+「知っているが、自社（船）の船員は利用したことがない」45.0%+「知っているが、自社（船）の船員の利用状況を把握していない」18.7%）となっています。《被保険者\_健診版》では、56.3%（「知っており、利用したことがある」14.3%+「知っているが、利用したことはない」42.0%）となっています。《被扶養者》では、50.5%（「知っており、利用したことがある」5.1%+「知っているが、利用したことはない」45.4%）となっています。



## (2) 「特定保健指導」の満足度

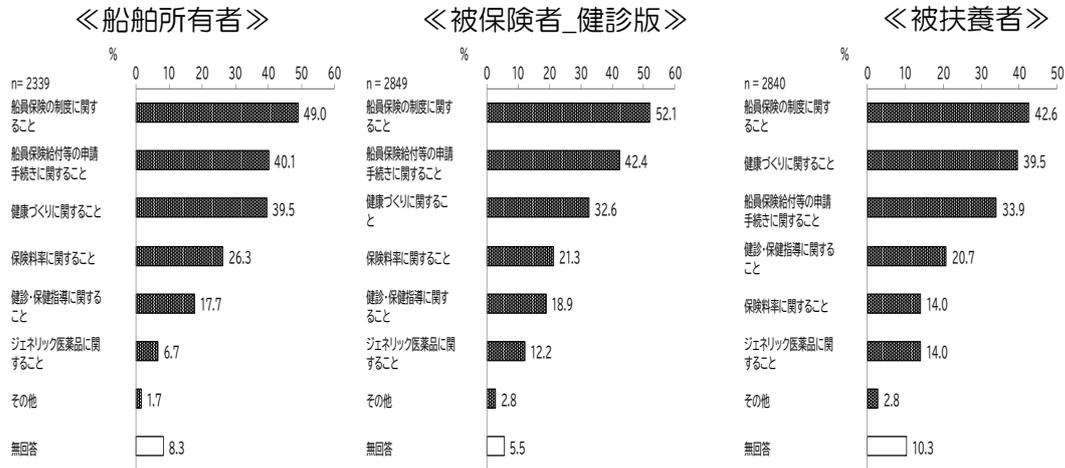
「特定保健指導」の満足度は、《船舶所有者》では83.6%（「とても満足」15.9%+「おおむね満足」67.7%）、《被保険者\_健診版》では83.1%（「とても満足」18.7%+「おおむね満足」64.4%）、《被扶養者》では92.4%（「とても満足」28.5%+「おおむね満足」63.9%）と、いずれも満足度は高くなっています。



# 「広報」について

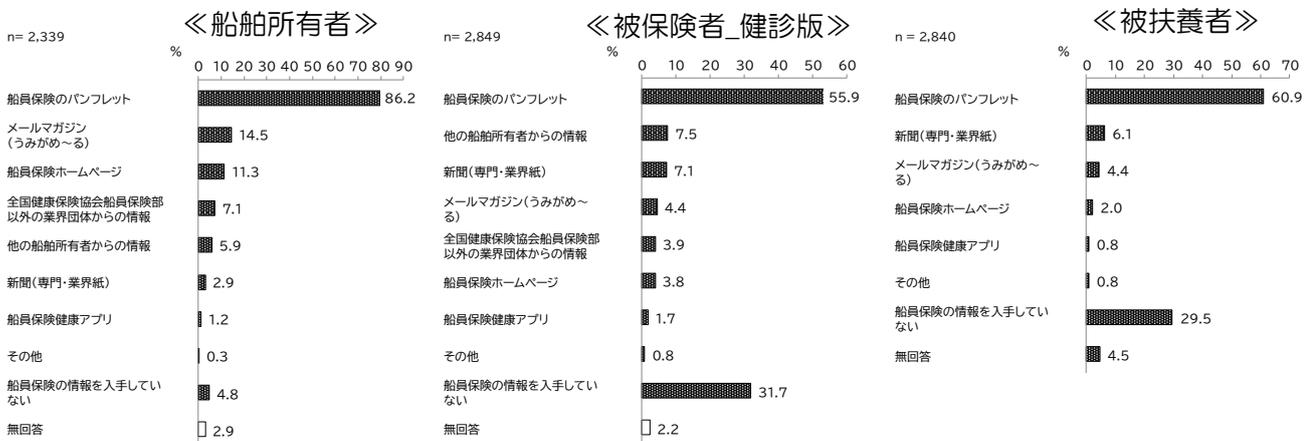
## (1) 船員保険から知りたい広報内容について

船員保険から知りたい広報内容について、「船員保険の制度に関すること」が、《船舶所有者》では 49.0%、《被保険者\_健診版》では 52.1%、《被扶養者》では 42.6%と、いずれも最も多くなっています。



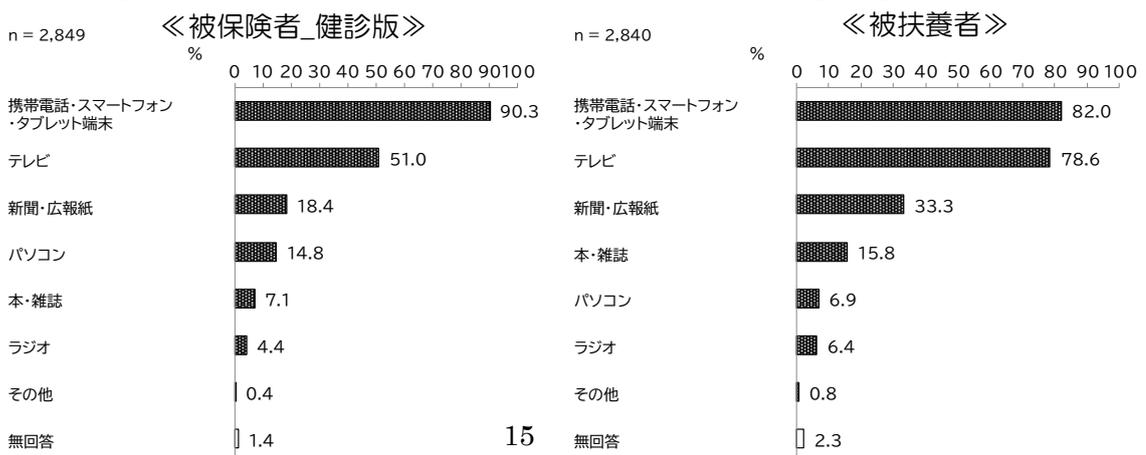
## (2) 船員保険の活動に関する情報入手方法

船員保険の活動に関する情報入手方法について、「船員保険のパンフレット」が、《船舶所有者》では 86.2%、《被保険者\_健診版》では 55.9%、《被扶養者》では 60.9%と、いずれも最も多くなっています。



## (3) 日常の情報入手方法

日常の情報入手方法について、「携帯電話・スマートフォン・タブレット端末」が、《被保険者\_健診版》では 90.3%、《被扶養者》では 82.0%と、いずれも最も多くなっています。

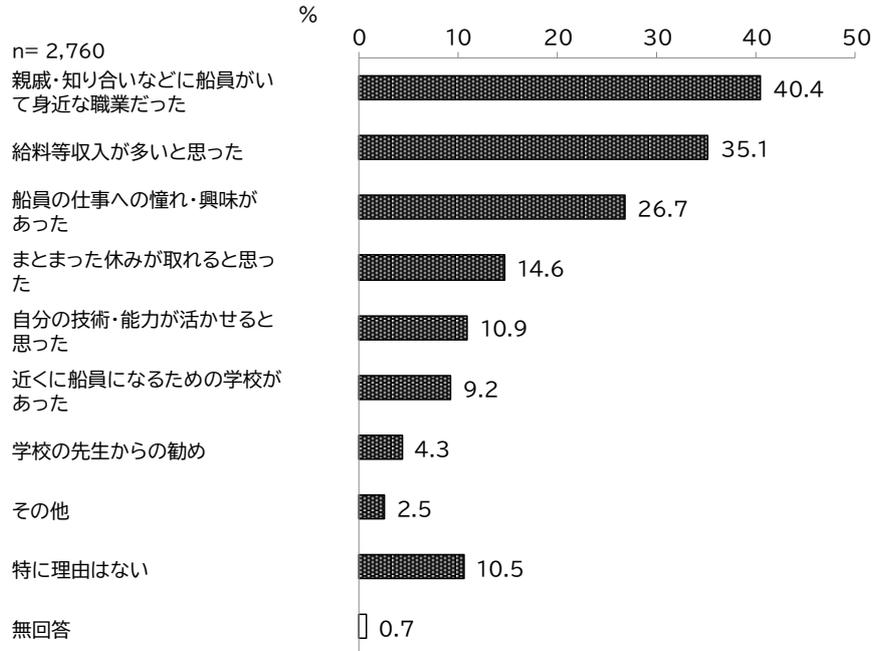


## 「待遇・環境」について

### (1) 船員になろうと思った理由

船員になろうと思った理由では、「親戚・知り合いなどに船員がいて身近な職業だった」が40.4%と最も高くなっています。次いで、「給料等収入が多いと思った」が35.1%、「船員の仕事への憧れ・興味があった」が26.7%となっています。

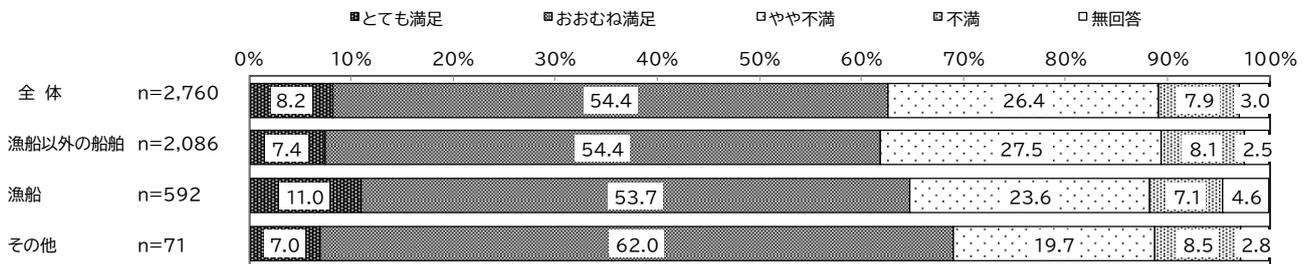
《被保険者\_健康づくり版》



### (2) 勤め先に対する総合的な満足度

勤め先に対する総合的な満足度について、「満足」の割合が62.6%（「とても満足」8.2% + 「おおむね満足」54.4%）となっています。【漁船以外の船舶と漁船】\*別でみると、「満足」（「とても満足」+「おおむね満足」）の割合は、漁船以外の船舶が61.8%、漁船が64.7%、その他が69.0%となっています。

《被保険者\_健康づくり版》



※ここでいう、【漁船以外の船舶と漁船】の定義は下記の通りである。

【漁船以外の船舶】外航船（貨物船（タンカー以外））、外航船（タンカー）、外航船（旅客船）、内航船（貨物船（タンカー以外））、内航船（タンカー）、内航船（旅客船）、引き船（タグボート）・押船・作業船、調査船

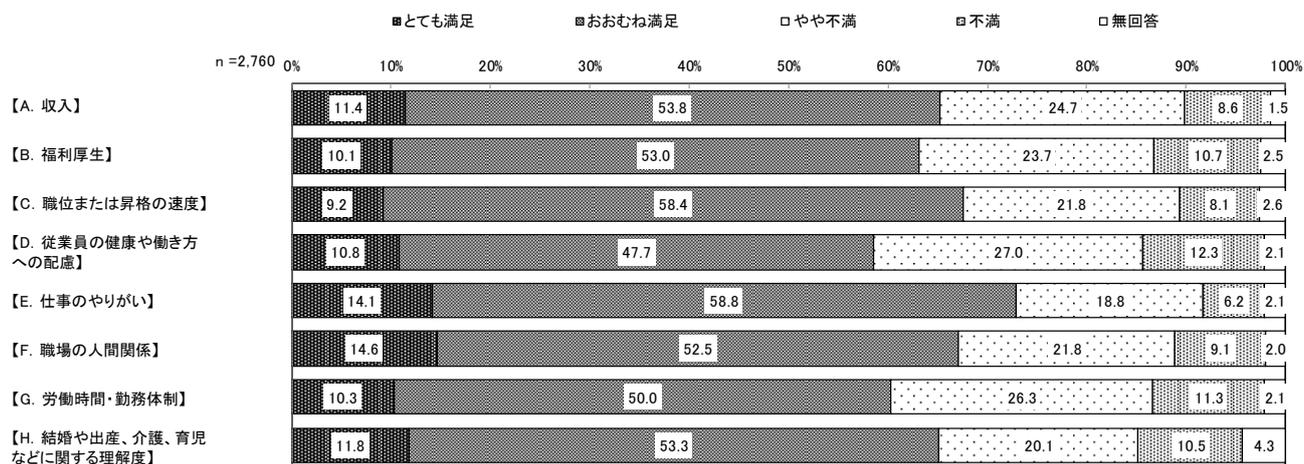
【漁船】漁船

【その他】その他と回答し、既存の選択肢に振り分けられなかったもの。

### (3) 勤め先に対する各項目の満足度

勤め先に対する各項目の満足度について、A~Hを見比べると、【D. 従業員の健康や働き方への配慮】の「不満」が12.3%、「やや不満」が27.0%と比較的高くなっています。一方で、【E. 仕事のやりがい】の「満足」の割合は、72.9%（「とても満足」14.1%+「おおむね満足」58.8%）と8項目の中では、比較的高くなっています。

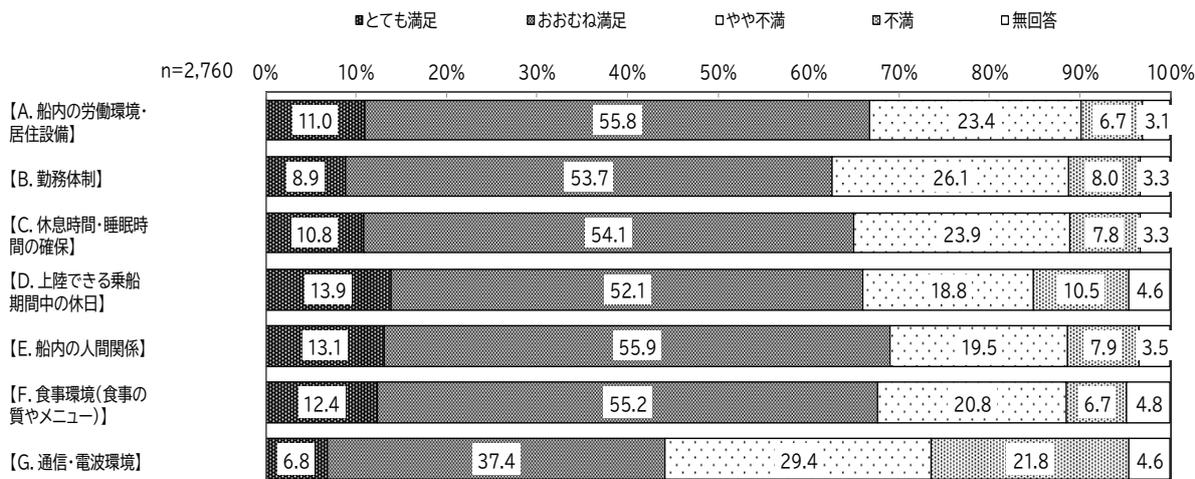
《被保険者\_健康づくり版》



### (4) 船内環境の満足度

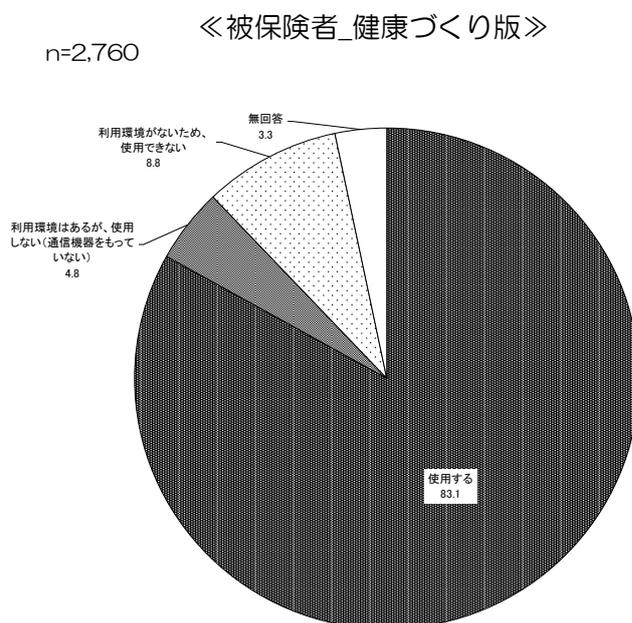
船内環境の満足度について、【E. 船内の人間関係】の「満足」の割合が69.0%（「とても満足」13.1%+「おおむね満足」55.9%）と最も高くなっています。一方で、【通信・電波環境】の「満足」の割合は、44.2%（「とても満足」6.8%+「おおむね満足」37.4%）と最も低くなっています。

《被保険者\_健康づくり版》



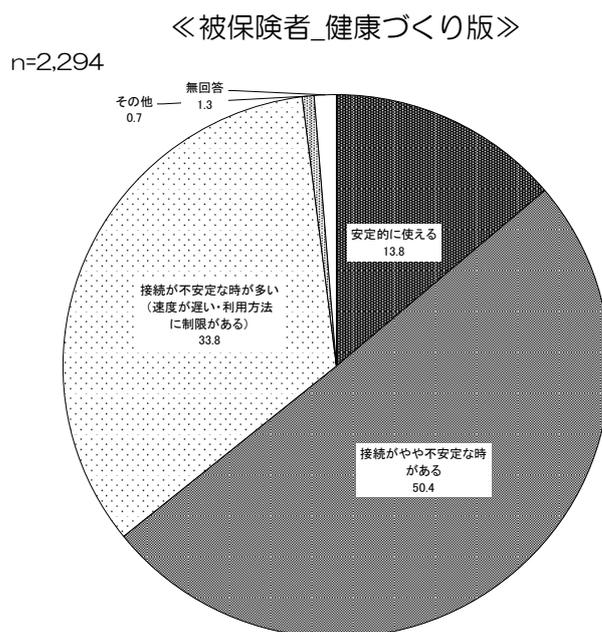
### (5) 海上での通信利用状況

海上での通信利用状況について、「使用する」が83.1%と最も高くなっています。



### (6) 海上でのインターネット接続状況

海上でのインターネット接続状況について、「接続が不安定」の割合が84.2%（「接続が不安定な時が多い（速度が遅い・利用方法に制限がある）」33.8%+「接続がやや不安定な時がある」50.4%）となっています。一方で、「安定的に使える」の割合は、13.8%と2割未満となっています。

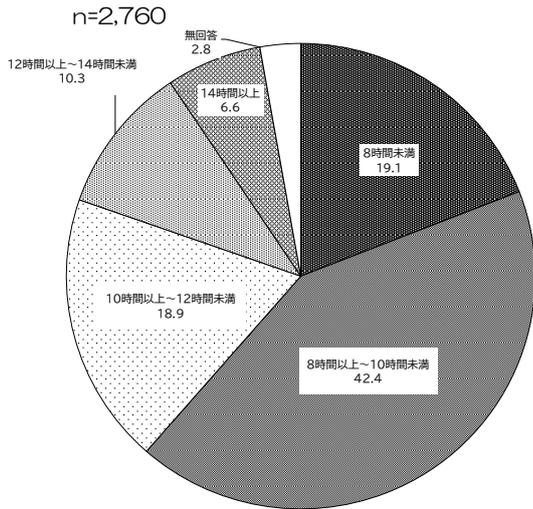


# 「労働実態」について

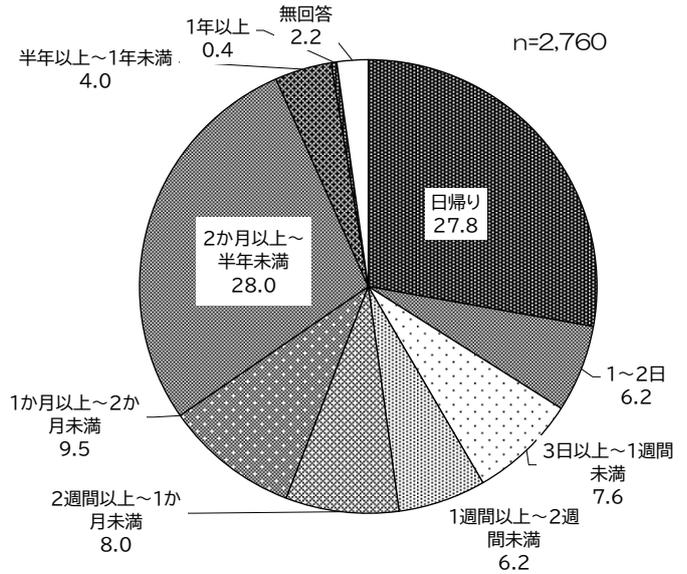
## (1) 労働時間と乗船期間

1日あたりの労働時間について、「8時間以上～10時間未満」が42.4%と最も高くなっています。乗船期間については、「2か月以上～半年未満」が28.0%と最も高くなっています。

《被保険者\_健康づくり版》  
1日あたりの労働時間

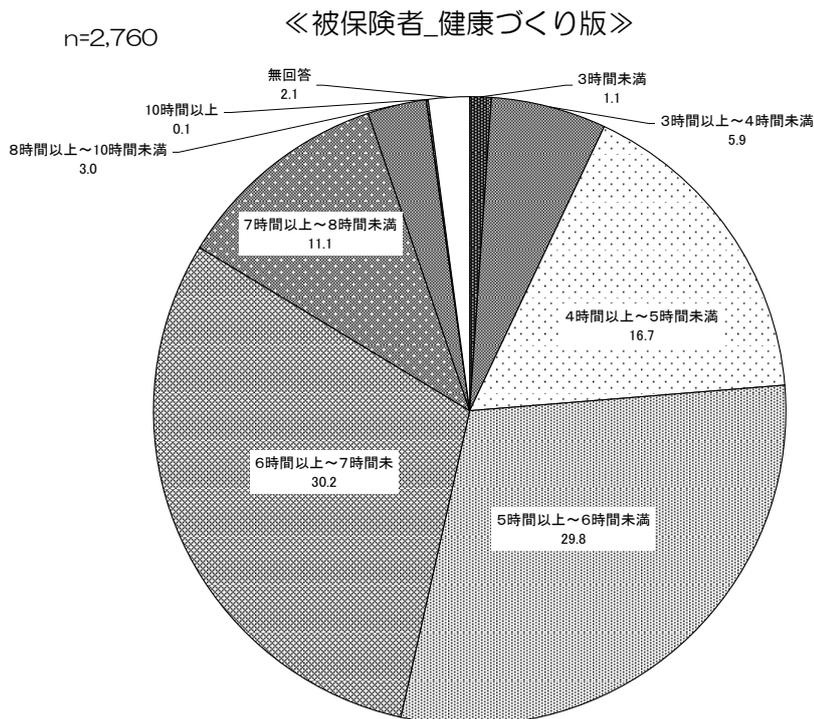


《被保険者\_健康づくり版》  
乗船期間



## (2) 睡眠時間

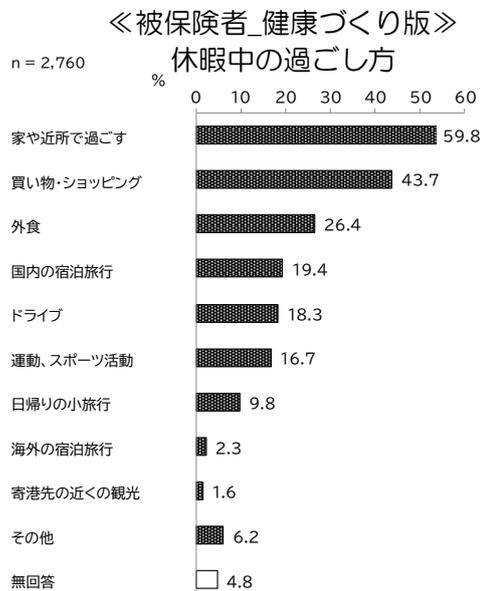
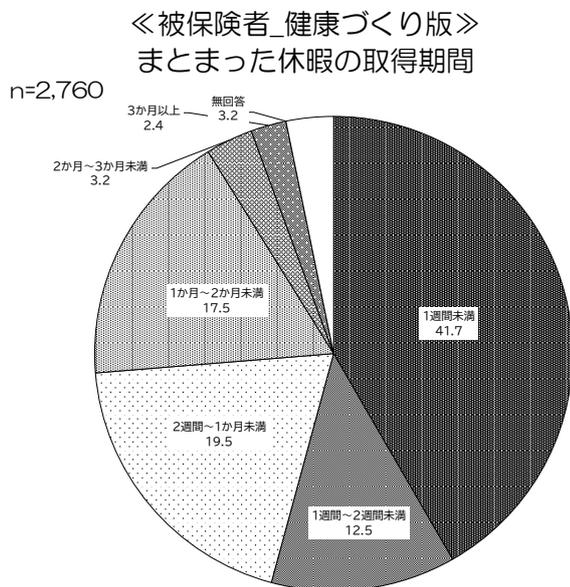
睡眠時間について、「6時間以上～7時間未満」が30.2%と最も高く、以下「5時間以上～6時間未満」が29.8%、「4時間以上～5時間未満」が16.7%、「7時間以上～8時間未満」が11.1%、「3時間以上～4時間未満」が5.9%となっています。



# 「休暇」について

## (1) 休暇について

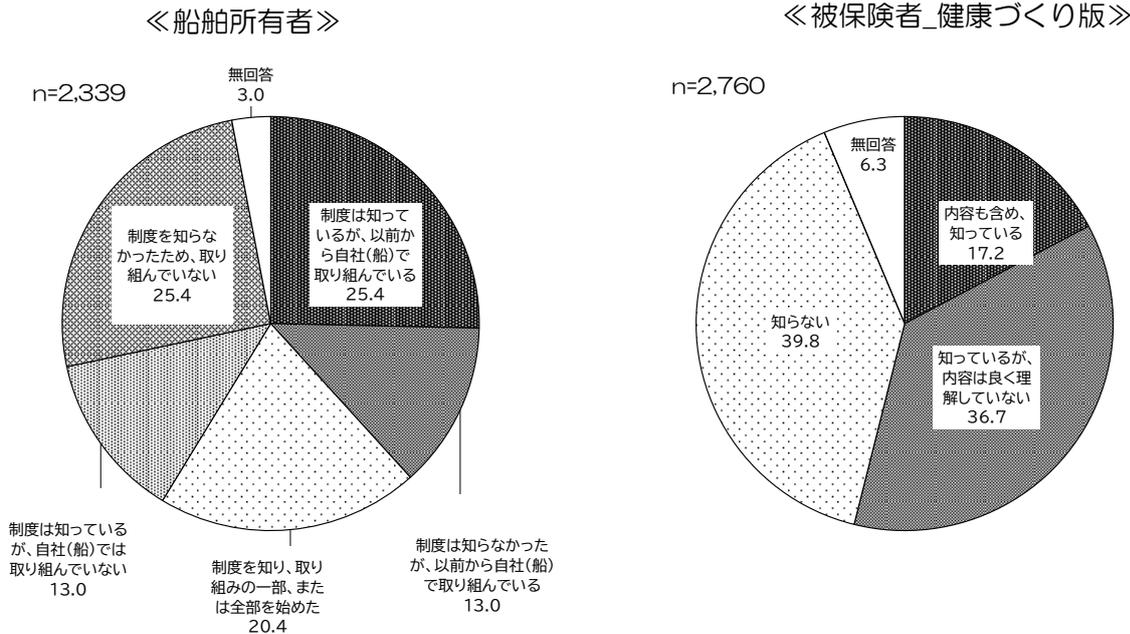
まとまった休暇の取得期間について、「1週間未満」が41.7%と最も高くなっています。休暇中の過ごし方については、「家や近所で過ごす」が59.8%と最も高くなっています。



# 「健康確保に関する制度」について

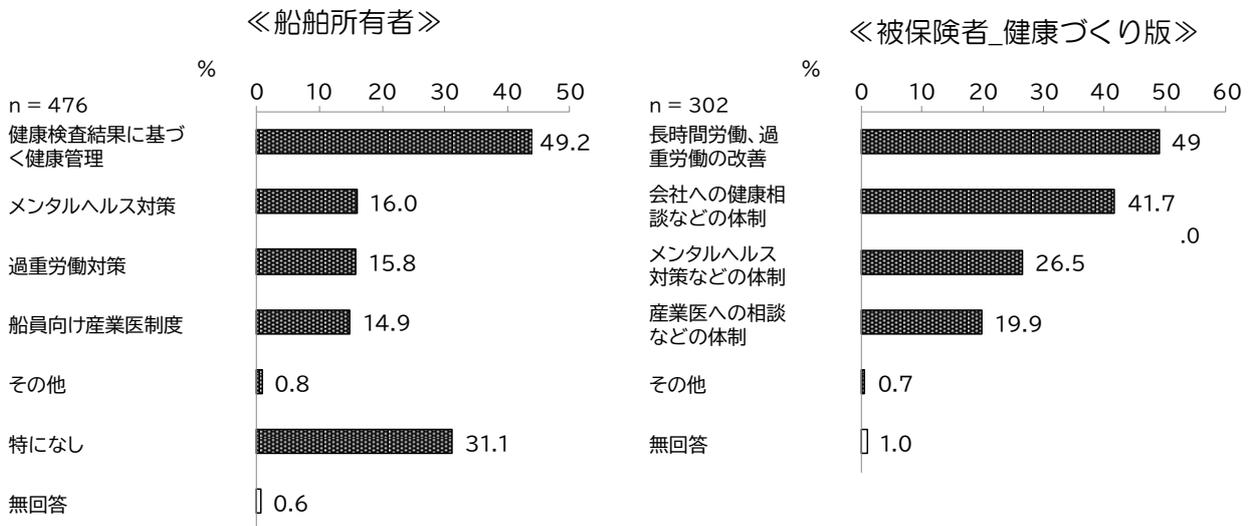
## (1) 健康確保に関する制度開始の周知度

健康確保に関する制度開始の周知度は、《船舶所有者》では58.8%（「制度は知っているが、以前から自社（船）で取り組んでいる」25.4%+「制度を知り、取り組みの一部、または全部を始めた」20.4%+「制度は知っているが、自社（船）では取り組んでいない」13.0%）となっています。一方で、《被保険者\_健康づくり版》では53.9%（「内容も含め、知っている」17.2%+「知っているが、内容は良く理解していない」36.7%）となっています。



## (2) 制度開始により、良くなったと実感した取り組み事項・良くなった事項

《船舶所有者》の良くなったと実感した取り組み事項については、「健康検査結果に基づく健康管理」が49.2%と最も高くなっています。一方で、《被保険者\_健康づくり版》の良くなった事項については、「長時間労働、過重労働の改善」が49.0%と最も高くなっています。



### (3) 健康確保に関する制度に取り組まない理由

制度は知っているものの取り組まない理由について回答してもらったところ、「仕事が忙しい」が 19.8%と最も高く、以下「何から取り組めばよいのかわからない」が 19.5%、「実施に向けて準備している（今後取り組む予定はある）」が 14.9%と続いています。

「その他」の主な内容としては、回答数のうち7割強が「常時 50 人以上雇っていないため不要」という意見となっています。

